

第七十六回帝國議會
院 昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツ
ル爲公債發行ニ關スル法律案外一件 委員會會議錄(速記)第四回

會議

昭和十六年一月二十八日(火曜日)午後二時
十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 松田 正一君

理事宇賀 四郎君理事樋口善右衛門君

理事駒井 重次君

中野 寅吉君

大橋清太郎君

世耕 弘一君

津原 武君

朴 春 琴君

森 肇君

小野 謙一君

坂田 道男君

田村 秀吉君

塚本 重藏君

星 一君

一君

一月二十七日委員岩瀨亮君辭任ニ付其ノ補
關トシテ中野寅吉君ヲ議長ニ於テ選定セリ

昭和十三年法律第二十三號中改正法律案

(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太

廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部

ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計

ニ繰入ルルコトニ關スル件(政府提出)

昭和十二年法律第八十四號中改正法律

案(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ

爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)、朝

鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)、

朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案

(政府提出)及臺灣事業公債法中改正法律

案(政府提出)

ノ審查ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 廣瀨 豐作君

大藏省理財局長 竹内 新平君

大藏省銀行局長 相田 岩夫君

預金部資金局長 中村孝次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツ

ル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和十五年法律第七號中改正法律案(造

幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建

物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經

費ニ關スル件(政府提出)

昭和十三年法律第二十三號中改正法律案

(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太

廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部

ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計

ニ繰入ルルコトニ關スル件(政府提出)

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案

(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲

公債發行ニ關スル件)(政府提出)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)

朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案

(政府提出)

臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)

○松田委員長 前會ニ引續キマシテ開會ヲ

致シマス、本日本會議ニ於テ併託ニナリマ

シタ法律案ノ説明ガ政府委員カラゴザイマ

ス——廣瀨大藏次官

○廣瀨政府委員 本委員會ニ併託ニ相成リ

付託議案

昭和十六年度一般會計歲出ノ財源

ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律

案(政府提出)(第一號)

昭和十五年法律第七號中改正法律

案(造幣局東京出張所ノ廳舎、工

場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ

新營擴張ニ要スル經費ニ關スル

件)(政府提出)(第二號)

昭和十三年法律第二十三號中改正

法律案(關東局、朝鮮總督府、臺

灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於

ケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金

額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入

ルコトニ關スル件)(政府提出)

(第三號)

昭和十二年法律第八十四號中改正

法律案(支那事變ニ關スル臨時軍

事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル

件)(政府提出)(第七號)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政

府提出)(第八號)

朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法

律案(政府提出)(第九號)

臺灣事業公債法中改正法律案(政

府提出)(第一〇號)

マシタ昭和十三年法律第二十三號中改正法

律案外四件ニ付キマシテ、其ノ提出ノ理由

ヲ御説明致シマス 先ヅ昭和十三年法律第

二十三號中改正法律案ノ提出ノ理由ハ、本

會議ニ於キマシテ申上ダゲタ通りデアリマ

シテ、昭和十三年法律第二十三號第一條ノ

規定ニ依リマシテ關東局、朝鮮總督府、臺

灣總督府及樺太廳ノ各特別會計カラ其ノ

租稅收入ノ一部ニ相當スル金額ヲ臨時軍事

費特別會計ニ繰入ルルコトニ相成ツテ居リ

マスルガ、今回新タニ關東局特別會計ニ於

キマスル煙草稅及ビ臨時利得稅ノ昭和十六

年度以降ノ増徴ニ因ル增收額ト、特別法人

稅ノ創設ニ因リマスル所ノ收入額トノ一部

ニ相當スル金額ヲ、毎年度豫算ノ定ムル所

ニ依リマシテ臨時軍事費特別會計ニ繰入ル

ルコトニ致シマシタ所、右ノ内臨時利得稅

ト特別法人稅ノ分ニ付キマシテハ、現行ノ

昭和十三年法律第二十三號第一條ノ規定ニ

依リマシテ、之ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルコトガ出來ルノデアリマスルガ、煙草稅ノ分ニ付キマシテハ、其ノ規定ガゴザイマセヌノデ、此ノ法律中改正法律案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス

次ニ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案ニ付テ御説明ヲ致シマス、支那事變ニ關スル經費ニ付キマシテハ、第七十一回乃至第七十五回ノ各帝國議會ノ協賛ヲ經マシテ、其ノ財源ニ充ツル爲ノ公債發行ヲ爲シ得ル權能ヲ得テ居ルノデアリマスルガ、事態ノ推移ニ伴ヒマシテ更ニ臨時軍事費十億圓ノ追加計上ヲ必要ト致シマスル所、其ノ所要財源中二百三十餘萬圓ニ付キマシテハ、北支事件特別稅收入等ヲ以テ充當致シマスルガ、差引九億九千七百六十餘萬圓ニ付キマシテハ、今日ノ場合之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマシタ爲ニ、昭和十二年法律第八十四號中公債ノ發行限度ヲ增加スルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス

次ニ朝鮮事業公債法中改正法律案ニ付テ申上ゲマス、朝鮮總督府特別會計ニ於キマスル既定繼續費鐵道建設及ビ改良費、道路修築改良費及ビ港灣修築改良費ノ追加額三億二千六十餘萬圓ノ内三億三百四十餘萬圓竝ニ港灣修築改良費ノ既定額ノ中普通財源ニ依ル豫定デアリマシタモノノ内千四百十餘萬圓、其ノ合計ガ三億千七百六十餘萬圓ニ付キマシテハ、同特別會計歲計ノ現狀竝ニ其ノ經費ノ性質ニ顧ミマシテ、之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマシタ所、鐵道建設及ビ改良費及ビ送電施設費ノ既定額ノ中、公債財源ニ依ル豫定デアリマシタモノヲ、普通財源支辨ニ振替ヘマシタモノ等ガ四千五百五十

餘萬圓アリマスル爲ニ、差引二億七千二百二十萬圓ダケ現行ノ朝鮮事業公債法ニ依ル公債ノ發行限度ヲ增加スルノ必要ガゴザイマスノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス

次ニ朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案提出ノ理由ハ、朝鮮鐵道用品資金ハ現行ノ朝鮮鐵道用品資金會計法第二條ノ規定ニ依リマスレバ、三百萬圓ト相成ツテ居ルノデアリマスルガ、朝鮮ニ於キマスル鐵道事業ノ増大ニ伴ヒマシテ、同會計ニ於ケル所ノ歲入歲出モ亦著シク増加致シテ參リマシタ爲メ、從來ノ資金額ヲ以テシマシテハ、本會計本來ノ機能ヲ發揮スルコトガ著シク困難ナルノ狀況デアリマスルニ顧ミマシテ、本資金ノ法定額ヲ千萬圓ニ増額致シマシテ、其ノ不足額ハ朝鮮鐵道事業ノ狀況ニ應ジマシテ、財政ノ許ス限り漸次朝鮮總督府特別會計カラ之ヲ繰入ルコトト致シマシテ昭和十六年度豫算ニ於キマシテハ之ニ要スル經費二百萬圓ヲ計上致シマシタ關係上、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス

次ニ臺灣事業公債法中改正法律案提出ノ理由ハ本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通り、臺灣總督府特別會計ニ於キマスル昭和十六年度豫算ニ新規ニ計上致シマシタ鐵道改良費、竝ニ既定繼續費鐵道建設費、停車場改良費及ビ港灣費ノ追加額、其ノ總計ガ千六百八十餘萬圓デアリマスルガ、此ノ内四百四十餘萬圓ニ付キマシテハ、同特別會計歲計ノ現狀竝ニ其ノ經費ノ性質ニ顧ミマシテ、是ガ財源ヲ公債ニ依ルコトト致シマシタ所、鐵道建設費、停車場改良費及ビ港灣費ノ既定額ノ中、節約ニ依リマシテ不用トナツタモノ等ガ六十餘萬圓アリマス

ル爲ニ、差引三百九十萬圓ダケ、現行ノ臺灣事業公債法ニ依ル所ノ公債ノ發行限度ヲ増加スルノ必要ガアリマスノデ、此ノ法律案ヲ提出致シタ次第デゴザイマス

以上申述ベマシタ所ノ各法律案ニ付キマシテハ、何卒速カニ御賛成アラシコトヲ御願ヒスル次第デゴザイマス

○宇賀委員 議事進行ニ付テ一言致シタイト思ヒマス、只今上程サレマシタ諸法案ノ中、昭和十二年法律第八十四號中改正法律案ハ、臨時軍事費ノ追加豫算ガ十億アリマシテ、其ノ公債財源トシテ九億九千七百餘萬圓ヲ限リ公債ノ發行限度ヲ增加スル爲ノ改正法律案デアリマスガ、是ハ大分御急ギノヤウニ思ハレルノデアリマス、ソレハ何故カト言ヒマスノニ、七十二議會ニ於キマシテハ臨時軍事費トシテ二十億二千二百萬圓ノ公債發行豫定ノ中、十億九千三百萬圓ノ發行實蹟ヲ見マシテ、残りガ九億二千八百萬圓バカリアリマス、ソレカラ七十三議會ニ於キマシテハ四十四億五千三百萬圓ノ中、三十七億圓發行サレテ、七億五千二百萬圓殘ツテ居リマス、所ガ七十四議會ニ於テ審議サレマシタ三十九億二千四百萬圓ニ付テハ、實際ハ七千七百餘萬圓超過シテ四十億以上ノ公債ヲ發行シテ居リマス、又七十五議會ニ於キマシテハ三十六億七千三百萬圓デアリマスガ、是ハ昨年ノ十二月マデニ既ニ四十四億圓ヲ發行サレマシテ、前ノ殘部ニ食込ムコト既ニ七億二千八百萬圓、今月ニ至リマシテ十三日ニ三億圓ヲ發行シマシタ、此ノ額ヲ加ヘルト、目下殘ツテ居ル所ノ公債ヲ發行シ得ル額ハ五億七千餘萬圓ノヤウニ承知致シテ居リマス、此ノ點ヲ考ヘマスト、是ハ餘程急ヲ要スルコト

ト思ヒマスカラ、本日成ベク此ノ問題ニ質問ヲ集中致シマシテ、出來得ルナラバ本日中午ニ此ノ審議ヲ打切ツテシマヒタイト思フノデアリマス

○松田委員長 御諮リ致シマス、宇賀君ノ御意見ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○松田委員長 御異議ナシト認メマス、ソレデハサウ云フコトニ決シマシタ——昭和十二年法律第八十四號中改正法律案ヲ、他ノ法律案ニ優先シテ議ニ付スルコトニ致シマス、直チニ質問ニ入りマス、質問ガアリマスレバ、御發言願ヒマス

○森(肇)委員 今宇賀君カラ御示シナツタ數字ヲ見マスト、豫定額ヲ超エテ御發行ニナツタ公債モアルヤウデアリマス、現ニ昨年ノ如キハ相當餘計御出シナツテ居ルヤウニ見エマスガ、昨年ノ秋頃ニナツテ政府ノ一般ニ拂出サレル金ガ非常ニ窮屈ニナツタヤウナ時期ガアツタヤウデス、一方ノ方ノ金ハ餘計發行サレテ、サウシテソレガ渡ツテ行ク場所ノ方ニハ不足ヲ生ジテ居ル、何カ其ノ間ノ事情ニ付テ御説明ガ出來レバ承リタイ

○廣瀨政府委員 當該年度ノ公債ノ發行豫定額ニ對シマシテ、實際ノ發行額ニ増減ガアルト云フコトハ、是ハ詰リ前年度カラノ繰越關係デアリマシテ、前年度ニ於テ豫定通り發行シ得ナカツタ額ヲ翌年度ニ發行スルコトガ多ケレバ、ソレダケ當該年度ニ於テハ發行増ト云フコトガ起ル譯デアリマス、只今宇賀君ノ御話ニナリマシタ點ハ、大體サウ云フ事柄ノ結果デアルト申上ゲテ宜シイカト思フノデアリマス、ソレカラ昨年ノ問題ニ付テノ御尋ネデアリマスルガ、是ハ慥カ前回ノ

此ノ會議ニ於キマシテ一應御説明申上ゲタ
ト思ヒマスガ、詰リ昨年ノ上半期ニ於キ
マシテハ、寧ロ政府資金ノ撒布ガ多過ギル
ト云フ聲ガ大キカッタコトハ御承知ノ通り
デアルト思ヒマス、ソレニ應ジマシテ政府
ハ其ノ資金ノ放出例ハ前拂デアリマス
カ、概算拂デアリマス、サウ云フヤウナ
方法ヲ抑制致シタノデアリマス、其ノ結果ガ
何時現ハレタカト申シマス、八、九、十
ト云フ月ニ現ハレタノデアリマス、ソレガ爲
ニ政府ノ資金撒布ガ相當遲延ヲ致シ、ソレ
ニ他ノ原因ガ加ハリマシテ、御承知ノヤウ
ナ一時金融窮屈ト云フ聲ガ起ツタ次第デア
リマス、ソコデ政府ノ方デハ更ニ是ガ對策
ト致シマシテ、政府ノ支拂ヲ又以前ノヤウ
ナ方法ニ戻スト云フコトヲ考ヘタノデアリ
マス、是ガ通牒ヲ出シマシテ、先々ノ支出
官ニ到達シテ實行ニ移サレマシタノガ十月
ノ末カラ十一月頃、其ノ頃ニナリマシテ段
段其ノ效果ガ現ハレマシテ、十二月ニ於テ
非常ニ澤山ノ政府資金ガ一時ニ撒布サレタ
モノデアリマス、ソレガ爲ニ十二月ニ於キ
マシテハ政府ノ公債發行高ガ十二月中ダケ
デ十三億、實ヲ申シマス、八億位ノ發行ニ
止メル豫定デアリマシタガ、ソレガ豫定ヨ
リモ五億殖エマシテ十三億ト云フコトニナ
ツタノデアリマス、而モ月末近ク其ノ資金
ガ撒布サレマシタ爲ニ、昨日カモ申上ゲマ
シタヤウニ、是等ノ資金ガ金融機關ニ還流
致シマシテ、國債ノ消化其ノ他ニ向ヒマス
ルノガ遲レタト云フ結果ニ相成ツタ譯デア
リマス、サウ云フヤウナ關係ガアリマス
デ、十六年度ニ於キマシテハ、政府ノ資金
ノ撒布ニ付キマシテモ、ヨリ一層注意ヲ拂
ヒマシテ、之ヲ計畫的ニ致シタイ、毎月月

月ノ支拂ニ付テ十分ナ注意ヲ拂ツテ、餘リ
凸凹ノ起ラナイヤウニ致シタイト云フコト
ヲ只今ヨリ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマ
ス、御諒承願ヒマス

○森(肇)委員 只今字賀君ノ御示シナツタ
ノハ、發行ノ豫定年額ニ對シテ發行濟額ヲ
御電話ニナツタ譯デアリマス、年度ヲ越エテ
御發行ニナツタノヲ私ハ咎メテ居ル譯
デハナイ、ソレハ結構ナコトデ宜イノデス
ガ、今御説明ニナツタヤウニ、政府資金ガ
撒布サレマシタ其ノ姿ト、公債ヲ御發行ニ
ナツタト云フコトト、大概同ジ波ノ上ニ乗
ツテ居リマスケレドモ、ソレガ違ツテ凸凹
ニナツテ居ル、例ヘバ九月ニ公債ヲ發行サ
レタガ、資金ノ缺乏ガ九月ニアツタト云フ
ヤウナ姿ニナツタコトハアリマセヌカ

○廣瀨政府委員 今回ノ事變以後ニ於キマ
シテハ、大體ニ於テ資金ノ撒布ガ寧ロ先ニ
ナリマシテ、資金ノ撒布ヲ追掛ケテ公債ガ
發行サレル、サウ云フ現象ガ多イノデゴザ
イマス、平時ニ於キマシテハ、豫メ市場ノ
狀況ニ依リマシテ公債ヲ先ニ發行シテ、其
ノ資金ヲ一時國庫ニ或ル程度殘シテ置イテ、
ソレカラ除キニソレヲ撒布スル、サウ云ツ
タヤウナ操作ヲ行ツタ時代モアリマシタケ
レドモ、今事變ニ於キマシテハ寧ロソレハ
逆デアリマシテ、政府ノ支拂ノ狀況ヲ見ナ
ガラ國債ヲ發行スル、是ガ殆ンド常デアリ
マス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○森(肇)委員 サウスルト、今ノヤウニ資
金ノ撒布ノ方ガ先ニナツテ、其ノ狀況ヲ見
テ初メテ公債ヲ發行スル方法ノ方ガ宜シイ
ト云フ御考ヘデアアルデアリマス、カ
○廣瀨政府委員 大體御承知ノヤウニ、國
債ノ發行ハ出來ルダケ必要ノ最小限度ニ止

メタイト政府ハ考ヘテ居ルノデアリマス、
隨ヒマシテ資金ノ要ル時デナケレバ國債ヲ
成ベク増發シナイ、斯ウ云フ精神カラ致シ
マシテ、資金ガ要ル時ニ於テ初メテ國債ヲ
發行スル、サウ云フ方法ヲ執ツテ居ル次第
デアリマス

○森(肇)委員 一寸素人考ヘテ以テスルト、
資金撒布ガ十分デナカッタ爲ニ經濟界ヲ苦
シメルヤウナコトガ起ラナイヤウニスル爲
ニハ、從來ノ例ニ依ツテ必要ナリト信ズル
公債ヲ御發行ニナツテ、資金ヲ御準備ニナ
ツテ、サウシテチャント必要ナモノニ御撒
布ニナルト云フ方ガ滑ラカニ行ク途デハナ
イカトモ思ハレルノデスガ、今ノヤウニ逆
ニオイデニナル結果ガ、昨年ノ秋若シクハ
冬近クノヤウナコトニナツタノデハナイ
カ、是ハ素人ノ考ヘデスカラ分リマセヌ
ケレドモ、御教ヘラヒタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 只今ノ御趣旨ハ私十分諒
解致シ兼ネルノデアリマスガ、政府ハ豫メ
公債ヲ發行致シマシテ、國庫ノ中ニソレダ
ケノ資金ヲ蓄ヘテ置キマシテモ、支拂ベキ
キ理由ガナケレバ金ハ出セナイノデアリマ
ス、詰リ其ノ歳出ノ理由ノナイノニバラ撒
ク譯ニ行キマセヌノデ、ヤハリ資金ヲ支拂
フ必要ガ起ツタ時ニ資金ガ出ル、之ヲ眺メ
テ行クヨリ外ニナイノデハナイカト思フノ
デアリマス、實際問題ト致シマシテ、昨年
アタリノ一般ノ要望ト致シマシテハ、政府
ガ當然品物ヲ納メタ以上ハ代金ヲ拂ツテ呉
レルベキモノヲ數箇月遲ラシテ居ルデハナ
イカ、詰リ金ノ拂ヒ方ガ遅イデハナイカト
云フ聲ノ方ガ大キイノデアリマシテ、詰リ
ソレダケ資金ノ出方ガ事實上遅カツタト云
フコトガ一部ニハアツタカト思フノデアリ

マス、デアリマス、カラ寧ロ今日ノ場合ニ於
キマシテハ、成ベク政府ノ支拂ガ正常ナル
狀態、當然拂ハルベキ時ニ拂ヘルヤウニス
ル、其ノ方ハ努力致シマシテ、ソコニ政府
ノ資金ガ撒布セラレマスレバ、國民ノ所得
或ハ購買力ガ出來ルノデアリマス、其
ノ際ニ公債ヲ發行致シマシテ、其ノ購買力、
所得ニ對シテ公債ノ消化ト云フモノヲ要請
スル、斯ウ云フコトガ先ヅ普通ノ順序デハ
ナカラウカト云フ、風ニ考ヘテ居ル次第デア
リマス

○森(肇)委員 一寸言葉尻ヲ捉ヘルヤウデ
スガ、事變前ニ於テハ公債ヲ發行シテ準備ノ
金ヲ以テ支拂ヒラヤツタ、此ノ頃ハソレヲ逆
ニヤツテ居ルト云フ御話デスガ、サウス
ト事變前ハシナクテモ宜イコトヲシテ居ツ
タヤウニ聞エルノデス、私ハサウデヤナイ
ト思ヒマスケレドモ、併シ只今ノ御話ノヤ
ウデスト、政府ニ拂出スベキ金ノ用意ガア
レバ、必要ノ都度御拂ヒニナル金ガアルナ
ラバ、何モ公債ヲ御發行ニナラヌデモ宜カ
ラウ、併シナガラ政府ニ於テ撒布スベキ資
金ナキガ故ニ御撒布ニナラナカツタト云フ
實情モアルノデハナイカト想像致シマス、カ
ラ、ソレナラバ公債ハ必要ノ都度御發行ニ
ナツテ、サウシテ受取ルベキ人ヲ苦シメナ
イヤウニオヤリニナツタ方ガ滑ラカニ行ク
ノデハアリマセヌカ、故ラニ拂フベキモノ
ヲ拂ハナイデ、例ヘバ事業ヲヤツテ居ル人、
其ノ人ノ計算ニ於テ仕事ヲナサシメテ、何
箇月モ引摺ツテ初メテ正式ニ御出シニナル
ト云フヤウナコトハナサヌ方ガ宜イノデ
ハナイカト結論ハ言ヒタイ、ソレ故ニ御尋
ネスルノデアリマス

○廣瀨政府委員 只今ノ御尋ネデゴザイマス

ガ、後ニ御話ニナツタコトヲ先ニ申上ダガ、イト思フノデアリマス、支出官ガ政府ノ支拂ヲ致シマス際ニ、國庫ニ金ガナイ爲ニ金ガ拂ヘナイト云フコトハ絶對ニアリマセス、是ハ御承知ノヤウニ、國庫ノ金ハ臨時軍事費特別會計デアリマセウト、一般會計デアリマセウト、其ノ他ノ特別會計、全體ノ資金ヲ一括シテ支拂元ハ一ツニナツテ居リマス、デアリマスカラ例ヘバ臨時軍事費ノ方面ニ於テ細カイ計算ニ於テ金ガナクテモ、國庫全體トシテ金ガ其ノ日ノ一日々々ノ金ガナイト云フコトハアリマセス、又假ニサウ云フヤウナ事態ガアリマセバ、是ハ一々別ニ世間ニ發表致シテ居リマセヌガ、預金部ノ特別會計ニ於テ一億圓乃至二億圓ノ貸付金ヲ短期ニヤツテ居ルコトハ始終アル、サウ云フコトヲシテ國庫ノ方ノ支拂ニ窮スルト云フコトハナイノデアリマシテ、支拂ノ遅レト云フコトハ、寧ロ物品ヲ受取ツタ後ソレヲ檢收シテ、サウシテ檢收ノ手續ガ済ンデ初メテ小切手ヲ振出スト云フコトヲ致スノデアリマスガ、其ノ間ニ時間ガ掛ル、原則トシテサウ云ツタ場合デアリマス、其ノ他個々ノ場合ニ付テハ色々事情ガアルト思ヒマスガ、サウ云フ譯デアリマスカラ、只今御尋ネノヤウナ意味合ニ於キマシテ支拂ノ遅レト云フコトハナイト思ヒマス、ソレカラ前段ニ御尋ネニナリマシタ點ハ斯ウ云フコトデゴザイマス、ズツト平時ニ於テト申上ゲマシタノハ、大正末年カラ昭和ノ初年時代ニ於キマシテハ、御承知ノヤウニ國債發行ハ國債「シンデケート」銀行カラ募集致シタノデアリマス、大體適當ナ金融機關ニ於テ資金ノダブ付イタ時期ヲ見計ラツテ、「シンデケート」銀行ニ何億圓ト云

フ金額ヲ定メテ、サウシテ募集スルト云フノデアリマスカラ、例ヘバ十二月ニ政府ノ資金ガ要ルカラト言ツテ、金融機關ノ金ノ要ル時、十二月ニ國債ノ發行ハ其ノ當時ハ出來ナカツタモノデアリマス、デアリマスカラ大體此ノ市場ノ閑散デアリ、資金ノダブ付イタ時ニ於テ國債ヲ發行致シテ、國庫トシテハ要ラナイ時ニ國債ヲ發行スルカラ、利息ハソレダケ損ヲスル譯デアリマスガ、ソレモ已ムヲ得ナイ、要ル時ニ金ガ募集サレナクテハ困ルト云フノデサウ致シタノデアリマスガ、御承知ノヤウニ赤字財政時代ニナツテ、國債モ多數發行ヲ要スルヤウニナリ、日本銀行引受ノ方法ト云フコトガ行ハレルヤウニナリマシテカラ、サウ云フ必要ハナクナツタノデアリマス、詰リ政府ガ資金ノ要ル時ニハ、日本銀行引受ニ於テ國債ヲ發行シテ、ソコデ政府資金ヲ拵ヘマシテ、國債ノ消化ノ方ハ後ニヤル、詰リ消化ノ方ガ先デナク後ニナツタト云フ關係カラ、今日ニ於キマシテハ、資金ノ出ルノヲ追掛ケテ國債ノ發行ヲヤツテモ差支ヘガナイト云フコトニ相成ツタ譯デゴザイマス

○森(鑒)委員 私マダモウ少シ申上ゲタイコトガゴザイマスケレドモ、今ハ急ヲ要スル時デゴザイマスカラ、此ノ程度ニ致シテ置キマス、併シ今ノ御答辯デハ實ハ満足ハ出來ナイノデゴザイマス

○中野(實)委員 今ノ森君ノ御質問ハ一應理由ガアルト思ヒマス、私モ素人デアリマスガ、納品ノ檢收ヲ全部ヤツテ、サウシテ支拂ヲスルカラ遅クナル、ソレヲ納品ヲ檢査シタダケノモノヲ部分拂ヒニスレバ、今森サンノ仰シヤツタヤウナ不便ハ起ラナイ譯デアリマスカラ、政府モ成ベク部分拂ヒニスルヤウニ、全體ノ檢査ヲシテシマツタ後デナケレバ拂ハヌト云フヤウナコトデナイヤウニ、私一寸希望ヲ申上ゲテ置キマス

○廣瀨政府委員 只今御希望ノ點ハ既ニ政府ノ實行致シテ居ル所デアリマシテ、御承知ノヤウニ會計法上前金拂ヒ、或ハ概算拂ヒト云フコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス、唯問題ハ支出官銘々ノ判斷ニ依ツテ、前金拂ヒヲスルカ否カト云フコトニアルノデアリマス、多數ノ支出官ガアルコトデアリマスカラ、其ノ法ノ運用ノ上ニ於テ、時ニ依ツテハ區々ニナルコトガアルカモ知レナイト思ヒマスガ、是ハ政府ト致シマシテハ、出來ルダケ納人ノ便宜ヲ圖ラウト云フ精神デ、常ニ中央ノ方カラ出先ノ方ヘハ注意ヲ促シテ居ル譯デアリマス、唯實際問題トシテハ、間々遺憾ナ點ガアルカトモ思ハレルノデアリマスガ、其ノ點ハ將來ニ於テモ十分注意ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○松田委員長 中野君宜シウゴザイマスカ——他ニ御質問ハアリマセヌカ

○星委員 今問題ニナツテ居ルコトハ、是ハ手續ニ過ギナイコトデアアル、斯ウ思ツテ居リマスカラ、今ノ森サンナリ中野サンノヤウナ質疑ハ、殘ツテ居ル赤字ノ方デ行ケルト思ヒマス、是ハ手續ダケカラ質疑ナシニヤツテ行キタイト思ヒマス

〔贊成ト呼ブ者アリ〕

○松田委員長 他ニ御質問ガナケレバ是デ質疑ヲ打切りタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○松田委員長 ソレデハサウ云フコトニ決

シマシタ、本案ノ處理ニ付キマシテハ、ソレゾレ手續ガアリマスカラ、手續ヲ經マシテ明後日討論ニ入りタイト思ヒマス、サウ云フコトニ御承知置キヲ願ヒタイト思ヒマス

○松田委員長 ソレデハ元ニ戻リマシテ、昭和十六年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件、之ニ對スル質問中デアリマシタガ、其ノ時ニ留保サレテ居ル世耕君ガ發言ヲ求メラレテ居リマスカラ、之ヲ許シマス——世耕君

○世耕委員 幸ヒ政府カラ資料ノ提出ヲ戴キマシタカラ、質問ハ大分簡略出來ルト思ヒマス、唯一、二點御尋ネシテ置キタイコトハ、昨日モ御尋ネ致シマシタガ、昨日御答辯願ヘナカツタ國民所得ニ關係アル問題デアリマス、此ノ國民所得ニ重要ナ關係ヲ持つ一般株式ノ實質價值ヲ維持スル方法ニ付テ、政府ハドウ云フ考ヘヲ持つテ居ルカ、生産ノ擴充、國民所得ノ増加ノ根源トモ言ハレル株式界ノ現狀ヲ見マシテ、政府ハ相當此ノ點ニ付テ大キナ決意ト、思切ツタ計畫ガオアリニナルドラウト思フノデアリマス、此ノ際此ノ議會ヲ通ジテ一ツ御話願ヘレバ非常ニ結構ダト思ヒマス

○廣瀨政府委員 株式ノ問題ニ付キマシテハ、申スマデモナイコトデアリマスルガ、生産力擴充ノ資金ヲ調達スル上ニ於テ極メテ重要ナル役割ヲ演ジテ居ルモノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ株ノ値段ガ實勢ニ即シテ安定スルト云フコトハ最モ望マシイコトデアリマス、サウ云フヤウナ意味合カラ致シマシテ、政府ト致シマシテハ今後必要ニ應ジマシテ、株價ノ安定ニ資スル爲ニ必要ナリト認ムル方策ガアリマスレバ之ヲ採ツ

テ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第
デアリマス

○世耕委員 其ノ點ニ付テ具體的ナ案ヲ御
持チダラウト思ヒマスガ、御差支ヘナカツ
タラ其ノ差支ナイ範圍デ一ツ御發表願ヒタ
イト思ヒマス、例ヘバ株式正常價值保持ノ
爲ニ國策證券會社ヲヤウナモノヲ設立ス
ル、或ハ現在ソレニ似通ツタ例ヘバ生保證
券會社トカ、大日本證券投資株式會社ト云
フヤウナモノデ、他ノ方法デ強化シテ行ク
トカ、何カ恒久應急ノ兩對策ノ御用意ガア
ラウト思フノデアリマスガ、其ノ點ヲモウ
少シ具體的ニ御説明ヲ願ヒタイト思フノデ
アリマス、實ハ是ガ今後ノ日本ノ經濟界ニ
大キナ根ヲ張ルモノデアリ、同時ニ公債消
化ノ上ニモ非常ニ力強イ働キノ出所ダラウ
ト思ヒマス、其ノ御説明ノ如何ニ依ツテモ
ウ一、二點御伺ヒシタイト思フノデアリマス

○廣瀨政府委員 只今政府ニ於テ具體的ニ
計畫致シテ居リマスル案ト云フモノハ、差
當ツテハナイト申上ゲルヨリ外ナイカト思
ヒマス、併シナガラ株價ノ健全ナル推移ト
申シマスカ、サウ云フコトニ付キマシテハ
政府ハ常ニ注意ヲ拂ヒマシテ、直接政府ガ
施策ヲ行フト云フ方法以外ニ於キマシテ
モ、常ニ適當ナ指導ト申シマスカ、財界ニ
對スル或ル程度ノ指導、或ハ干涉等ハ行ツテ
居ル譯デアリマス、尙ホ最近財界方面ニ於
キマシテ、證券價格ヲ安定サセル目的ノ爲
ニ新シク會社ヲ設立スルト云フ議ガ起ツテ
居リマシテ、着々進行シツツアリマスガ、
之ニ對シマシテハ政府ハ時節柄洵ニ結構ナ
ル計畫デアルト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デ
アリマス、此ノ會社ガ時局ニ對應致シマシ
テ、株價安定ノ爲ニ必要ナル活動ヲ將來ニ

於テ致ス場合、政府ノ援助スベキ必要ナ手
段ガアリマスナラバ、之ヲ採ルノニ惜シマ
ナイト云フ考ヘデ居ルヤウナ次第デアリマ
ス、尙ホ此ノ會社ヲ通ジテノ政府ノ援助ト
云フコトノミナラズ、政府ト致シマシテハ
其ノ他ノ方面ニ於テモ常ニ心ヲ配リマシ
テ、出來ルダケノ方法ト申シマスカ、手段
ヲ盡ス積リデ居ル次第デゴザイマス

○世耕委員 只今話題ニ上ツテ居ル證券投
資會社ト申シマスカ、株式價值維持ノ爲メ
活動シヨウトスル其ノ會社ハ、將來半官半
民ノ形式デヤツテ行カウト云フ御考デゴザ
イマスカ、ソレトモ他ノ方法ヲ以テ御指導
ニナラウト云フ御希望デアルカト云フコト
ヲ御尋シテ置キタイ、尙ホ私カラ申上ゲル
マデモナク、大藏省ハ十分御留意ノ上其ノ
對策ヲ講ゼラレテ居ルコトト思ヒマスガ、
御參考マデニ申上ゲテ置キマスレバ、私ノ
手許ニアル材料ヲ土臺ニシテ申上ゲマスナ
ラバ、昨年ノ一月現在ノ全國ノ株式時價總
額ヲ四百七億圓ト押ヘテ居ルヤウデアリマ
ス、而シテ昭和十五年十月現在ニ於テハ、
其ノ時價總額ハ三百五十二億圓トナリ、茲
ニ五十四、五億圓ノ値下リヲ來シタト云フ
結果ノ報告ガアルノデゴザイマス、此ノ株
價ノ値下リガ投資家ニドウ云フ風ニ影響ヲ
及ボシテ居ルカ、殊ニ此ノ株價ヲ擔保ニシ
テ融通シテ居ル所ノ金融機關ガドウ云フ風
ナ状態ニ置カレテ居ルカト云フコトハ、私
ノ口カラ申上ゲルマデモナク十分御承知ノ
コトト思ヒマス、此ノ際、或ハ言葉ガ適當
デナイカモ知レマセヌガ、膏藥張リノヤウ
ナヤリ方デナシニ、徹底シテ御方針ヲ確立
シテ、思ヒ切ツタ決意デ株價維持ニ乗出シ
テ戴キヤウニ、寧ろ積極的ニ大藏省ノ態度

ヲ決メテ戴キタイト云フコトヲ特ニ附加ヘ
テ置キタイノデアリマス、尙ホ序ニモウ一
點希望ヲ述ベテ置キタイコトハ、ドウモ近
頃政府ノ御考ヘガ通貨ト云フコトニ餘リ重
キヲ置カレテ、物ニ對シテ少シ輕ク見テ
居ハセヌカ、今日政府ハ重點主義ノ叫バレル
コトガ多いノデアリマスガ、時局ニ際シテ最モ
必要ナ物ヲ狙ヒ撃シテ行クト云フ重點主義ノ
建前カラ、寧ろ私ハ外ノ物ハ幾分犠牲ヲ拂ツ
テモ、必要ナ物ハソレニ或ル程度マデ強力
ナ増産政策ヲ樹テ行フ、或ル場合ハ結局物
ノ呼ビ水トシテ通貨ヲ活用シテ行カウト云
フ風ニシテ戴キタイ、餘リ「インフレ」ニナ
ルデヤナイカ知ラン、何ニナルデヤナイカ
知ラント云フ通貨ノ數ニバカリ囚ハレテ、
ドウシタラ物ノ生産ガ増加サレルカト云フ
コトガ輕ンゼラレテ居ルヤウナ嫌ヒガ所々
ニ發見サレルノデアリマス、此ノ點ヲ特別
ニ御考慮願ヒタイト云フコトヲ希望シテ、
尙ホ一點ダケ御返答ヲ承リタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 今回出來マス證券會社ガ
半官半民ノ會社デアルカ、或ハサウスル積
リカト云フ意味合ノ御質問デアルト思ヒマ
スガ、只今計畫サレテ居リマス會社ハ純然
タル民間ノ會社デアリマス、財界各方面カ
ラノ全體的ナ要望ト申シマスカ、協力カラ
成立ツタモノデアリマス、之ニ對シテ政府
ガ特別ノ關與ヲ致シ、或ハ特別ノ監督掣肘
ヲ加ヘルト云フ建前ニ今日ハナツテ居リマ
セヌ、又今議會ニ於テソレニ關スル特別ノ
法律案等ヲ提出スル考ヘハゴザイマセヌ、
左様御諒承願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ政府ハ徹底的ナ株ニ對スル方策
ヲ立テルヨウニト云フ御希望ノヤウニモ伺
ヒマシタガ、御意見御同感デゴザイマス

○世耕委員 結論トシテモウ一點ダケ申上
ゲテ置キマス、只今次官カラ非常ニ心強イ
御説明ヲ得マシテ、非常ニ愉快ニ感ジテ居
ル次第デアリマス、尙ホ參考マデニ申上ゲ
テ置キマスガ、只今次官ハ石炭、鐵ノ問題
ニ付テ御話ガゴザイマシタガ、吾々ノ調査
シタ所ニ依リマス、マッテ、砂糖、米、
木炭ト云フヤウナ生活必需品ノ如キモ、政
府ガ一寸手加減ヲシテ呼ビ水ヲ差シテ呉レ
レバ十分出ル、其ノ點モ特ニ御考慮ヲ拂ツ
テ戴キタイ、例ヘバ「マッテ」ノ如キモ私ノ
手許ノ調査ニ依リマス、百斤一等品ガ二
十八圓、二等品ガ二十四圓何ガシニナツテ
居リマス、御承知ノ通り昭和十五年マデノ
統計ヲ見マス、國內デ四十萬「トン」製造
サレテ、其ノ内十七萬「トン」ト云フモノ
ハ第三國へ輸出シタト云フヤウナ現狀デア
リマス、ソレガ今日煙草ノ「マッテ」ニモ困
ルト云フヤウナ有様デアル、又砂糖モ同様
デアリマス、砂糖モ其ノ統計ニ依リマス、

○世耕委員 其ノ點ニ付テ具體的ナ案ヲ御
持チダラウト思ヒマスガ、御差支ヘナカツ
タラ其ノ差支ナイ範圍デ一ツ御發表願ヒタ
イト思ヒマス、例ヘバ株式正常價值保持ノ
爲ニ國策證券會社ヲヤウナモノヲ設立ス
ル、或ハ現在ソレニ似通ツタ例ヘバ生保證
券會社トカ、大日本證券投資株式會社ト云
フヤウナモノデ、他ノ方法デ強化シテ行ク
トカ、何カ恒久應急ノ兩對策ノ御用意ガア
ラウト思フノデアリマスガ、其ノ點ヲモウ
少シ具體的ニ御説明ヲ願ヒタイト思フノデ
アリマス、實ハ是ガ今後ノ日本ノ經濟界ニ
大キナ根ヲ張ルモノデアリ、同時ニ公債消
化ノ上ニモ非常ニ力強イ働キノ出所ダラウ
ト思ヒマス、其ノ御説明ノ如何ニ依ツテモ
ウ一、二點御伺ヒシタイト思フノデアリマス

○廣瀨政府委員 只今政府ニ於テ具體的ニ
計畫致シテ居リマスル案ト云フモノハ、差
當ツテハナイト申上ゲルヨリ外ナイカト思
ヒマス、併シナガラ株價ノ健全ナル推移ト
申シマスカ、サウ云フコトニ付キマシテハ
政府ハ常ニ注意ヲ拂ヒマシテ、直接政府ガ
施策ヲ行フト云フ方法以外ニ於キマシテ
モ、常ニ適當ナ指導ト申シマスカ、財界ニ
對スル或ル程度ノ指導、或ハ干涉等ハ行ツテ
居ル譯デアリマス、尙ホ最近財界方面ニ於
キマシテ、證券價格ヲ安定サセル目的ノ爲
ニ新シク會社ヲ設立スルト云フ議ガ起ツテ
居リマシテ、着々進行シツツアリマスガ、
之ニ對シマシテハ政府ハ時節柄洵ニ結構ナ
ル計畫デアルト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デ
アリマス、此ノ會社ガ時局ニ對應致シマシ
テ、株價安定ノ爲ニ必要ナル活動ヲ將來ニ

或ハ間違ヒガアルカモ知レマセヌガ、大體ノ數字ヲ申上ゲマス、二千ワ「ビクル」ト押ヘテ居ル、十五年度ノ計數ヲ見マス、其ノ中ノ四五百万「ビクル」ト云フモノハ、ヤハリ第三國ニ輸出出來ルヤウナ情勢ニナツテ居ル、ソレガ急ニ足ラナクナツタ、色色手ヲ盡シテ調ベテ見マス、引合ハヌカラ造ラス、引合ハヌカラ出サヌ、政府ガ喧シク言フカラ、少シハ義理デ出スケレドモ、損ガ行クカラ出サヌト云フヤウナ風デ、「ストック」品ヲチヨイ／＼見受ケル、「マツチ」砂糖同様デアリマスガ、私ハ鐵ニモソレヲ發見スルコトガ出來ル、石炭ニモ發見スルコトガ出來ルト思フ、金モ同様デアリマス、極ク卑近ナ例デアリマスガ、最近ノ出來事デスカラ御參考マデニ申上ゲマサガ、「カーバイド」ノ問題ノ如キモ同様デアリマス、日本ノ内地デ闇取引ヲヤル、公定價格四圓八十錢乃至五圓ノモノガ闇デハ二十五圓モ三十圓モシテ居ル、ドウシテ出來ナイカト云フト、電氣ガ足ラナイト云フト、最近和歌山縣デ、三十四年前ニ沈ンダ英國ノ汽船ガ濱ニアルノヲ引揚ゲヨウト云フコトニナツタ、ソレニハ「カーバイド」ガ二百「トン」要ル、所ガ商工省ニ行キマス、無イト言フ、無ケレバ委託制度ヲ採ツタラ宜イ、委託制度デモ出來ヌカモ分ラヌト言フノデ、調査ノ人ヲ出シテ調ベテ見マス、打割ツタ話ダガ、ソレハ出來ル、價格サヘ上ゲテ呉レバ、一万「トン」デモ二万「トン」デモ間ニ合フト云フ見込ヲ立テテ居ル、皆價格ガ祟ツテ居ル、米ヤ「マツチ」ガ足ラヌナンテ實ニミツトモナイ、日本デハ食糧ダケハ心配ナイト言ツテ、政府ガ先頭ニ立ツテ放送サレタ建前カラデモ、私ハ斯ウ云フコ

トヲ外國ニ知ラセタクナイ、皆價格ガ祟ツテ居ル、ダカラ私ハ必ズシモ高物價ヲ要求スル者デハナイガ、ドウゾ呼ビ水ヲ掛けテ増產出來ルヤウニシテ戴キタイ、外國品ナラ鬼ニ角、國內品ガ、而モ原料豐富ナ木材、或ハ木炭ノ端ニ至ルマデ行詰ルナドト云フコトハ、滑稽至極デアル、餘リ馬鹿々々シイノデ私ハ議論シタクナカツタカラ、實ハ阿呆陀羅經ヲ書イテ十萬部バカリ配布シタ、近頃ノ經濟的ナ問題ヲ捉ヘテ見ルト、實ニ馬鹿々々シイ、ドウゾ大藏省ハ大元締デアリマスカラ、サウ云フ矛盾ヲ一ツ早ク是正シテ戴イテ、何十年掛ツテモ國內物資ダケハ心配ナイ、特ニ生活必需品ハ何等ノ苦勞ガ要ラナイダケノ氣持ヲ我ガ銃後ノ間ニ出スヤウニ、一ツ御協力シテ戴キタイト云フコトヲ特ニ切望シテ已マナイノデアリマス、要ハ利潤ノ問題デアリマス、御承知ノ通り「ドイツ」ノ例ヲ見マシテモ、會社ノ利潤ハ下ゲテ居ラス、配當率ハ抑ヘテ居リマスケレドモ、利潤ハ抑ヘテ居ナイ、多イ所ハ六十割、七十割マデモ利潤ヲ上ゲサセテ居ル、利潤ヲウント上ゲサセテ置イテサウシテ税金ヲウント取ツテ居ル、サウシテ會社ノ基礎ヲ鞏固ナラシメンガ爲ニ、更ニ償却金ヲ強制的ニ出サシテ居ルト云フ「ドイツ」ノヤリ方ガ私ハ宜イデヤナイカト思フ、靜カニ吾々ガ「ドイツ」ノ統制經濟ヲ調ベテ見マス場合ニ、丁度十年前ニ「ドイツ」ノ失敗シタコトヲ今日日本ハ繰返シテ居ル、現在ノ「ドイツ」ガヤツテ成功シテ居ルコトヲ實ハ採入レテナイト云フ感ヲ深クスルモノデアリマス、是ハ何カノ食ヒ違ヒガラウト思ヒマスガ、此ノ點ハ繰返シテ申シマセヌカラ、ドウゾ特ニ賢明ナ次官ノ御手許デ十分ノ御指揮ヲ

戴イテ、明朗ナ增產計畫ガ出來ルヤウニ御努力願ヒタイト云フコトヲ希望シテ私ノ質疑ヲ終ルコトニ致シマス
○松田委員長 本日ハ他ニ質問ノ通告ガアリマセヌノデ、參考書ハ全部デハアリマセヌガ、御手許ヘオ配リ致シテ置キマシタカラ、ソレヲ御覽願ヒマシテ、御質問ガアレバ次會カラ御通告ヲ願ヒタイト思ヒマス、明日ハ午後一時カラ開會致シマシテ、臨時軍事費ノ追加豫算支辨ノ爲ニ發行スル公債法律案ニ付テ討論シ、採決ニ至ルマデヤリマシテ、アト御都合ヲ承リマシテ又繼續スルト云フコトナラバ繼續スルト云フコトニ致シタイト存ジマス、本日ハ之ヲ以テ散會ト致シマス
午後三時三分散會